



OLIVE ニュース 6月 2017

7月の予定 3日東洋学園定例会議 5日歯科検診・工賃支給日 27日理事会・評議員会
31日矢吹町民生児童委員協議会見学

月刊紙

法人報告

6月5日に理事による平成28年度の事業報告・収支決算の承認、6月19日に新評議員に同じく承認をいただきました。理事、評議員、監事の役割や義務に大きな変化が起き大改革といわれる起点的年度となります。任期は31年の6月までです。

理事長	遠藤 節子					
理事	渡辺 忠行	渡辺 和子	諸橋 鑑一郎	長谷川 雅子	猪狩 イエ子	
評議員	鈴木 テルヨ	星野 キヨ子	松下 和江	安竜 昌弘		
監事	石井 マサ子	曳地 令子				

阿列布のDNA

工房阿列布の利用者が行っている仕事の一つにビスとビス用のキャップを袋に入れる作業があります。小さな袋にビスを入れるため手早く仕上げるのには慣れが必要ですが利用者みなさんは丁寧に仕事をしてくれま

す。事業所が開設された頃、利用者向きの仕事を探していた当時の管理者や職員達は「利用者さんたちが意欲を持って働ける仕事」「きれいな仕事」という視点で周囲に仕事探しの情報を求め模索していたそうです。「きれいな仕事」というと「仕事を選ぶのか」と誤解を受けそうな発言です。しかし、作業服やマスクを着用して従事する仕事は障害ゆえに自己管理が難しいですし継続できなければ取引先に迷惑もかかります。過去にも紹介された仕事の中には利用者には重労働だったり作業環境が過酷だったりして申し訳ないと思いつつも断りしたこともあったそうです。

このような事がいくつか続いた頃、「阿列布さんにしてもらいたい仕事があります」と段ボール製造会社の方からいただいたのがビス作業でした。営業の方が阿列布の思いを心に留めておいてくれビスの作業は今も継続されています。

現在、就労継続B型の利用者を支援している職員は勿論、工房阿列布の職員すべてが、利用者の代弁者である事を念頭に置き、当時仕事を探しに奔走した管理者、職員達の熱意を阿列布のDNAとして継いでいき今年度から任命をうけた管理者として支援に向き合いたいと思います。

(工房 阿列布 管理者 佐藤央庸)

いつもありがとうございます

「事業所内にいつもお花があって素敵ですね」とお客様にお褒めのお言葉をいただくことがあります。その陰には「どうぞ飾ってください」とお花をプレゼントして下さる方の陰のお力があるのです。お客様は勿論、事業所のみんなが癒されています。



寄付、物品寄贈の皆様 遠藤睦子様 いわき支援学校様 いわき支援学校くぼた校様 平支援学校様 半田美江子様
トミー株式会社様 フラワー花門様 (順不同) ありがとうございました。